

KAMIYAMA Reports vol. 48

ニュージーランドの大臣が語る投資機会

チーフ・ストラテジスト 神山 直樹



- ニュージーランドの商業・消費者問題大臣が日興アセットを訪問、意見交換
- 債券投資の観点から同国財政政策の透明性、健全性を確認
- 輸出先は中国、豪州、アジアなど多様性を維持

ニュージーランドの商業・消費者問題大臣が日興アセットを訪問、意見交換

国際会議出席などのため来日したニュージーランドのポール・ゴールドスミス商業・消費者問題大臣(以下、大臣)は、5月31日に同国大使館の代表者などとともに弊社に来社された。



左: 左から、弊社柴田、筆者(神山)
中: 左から、弊社柴田とゴールドスミス産業・消費者問題大臣
右: ゴールドスミス産業・消費者問題大臣

弊社からは社長の柴田、筆者などが出席、大臣とは、UCITS アジア版であるアジア地域ファンドパスポート(オーストラリア、ニュージーランド、韓国、日本が参加)の将来像、日本とニュージーランド両国の財政・金融政策、金融行政、貿易などを含む経済の現状について、意見交換を行なった。

足元、弊社のニュージーランドでの運用資産額は50億NZドルを超え、近年は弊社経由の資金流入が増えているとみられ、同国の資金ニーズに貢献していると思われる。

債券投資の観点から同国財政政策の透明性、健全性を確認

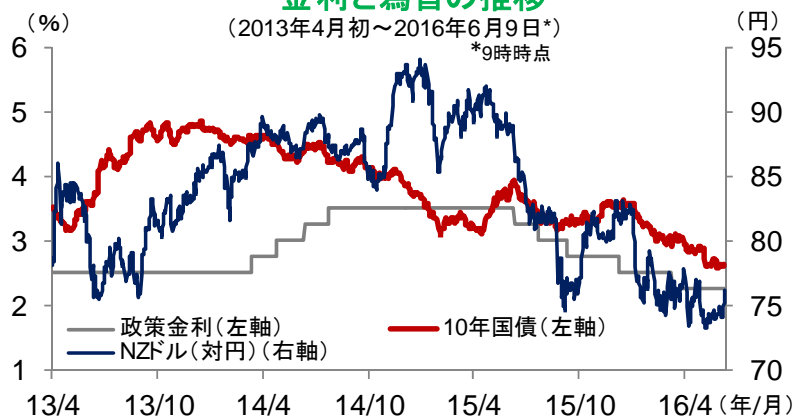
大臣は、2015年から3%前後のGDP(国内総生産)成長率を維持できていることは非常に良いことと感じている、と話されていた。このことは、2016年度予算を策定したところであり、安定的で予測可能性が高く資金調達の維持が可能な環境を維持できていると考えられる。また、会話の中で、同国は相対的に高い成長率を維持する「成長国」なので資金を必要としている、と話されたことは印象的であった。さらに、金融市場で大きなキャパシティを持つプレイヤーが必要とのことだった。

アジア地域ファンドパスポートについては、我々から、適切な方向に向かっているがアジアでUCITSの役割を担うにはいろいろとクリアしなければならないことがあるだろう、との見方を示した。欧州に比べるとアジア地域の金融監督のあり方が国によって大きく違うことなどがチャレンジとなりそうだ。弊社柴田からは、金融行政において同国が他地域を一歩リードしていると思っている、と伝えた。

金利と為替の推移

(2013年4月初～2016年6月9日*)

*9時時点



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)
 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

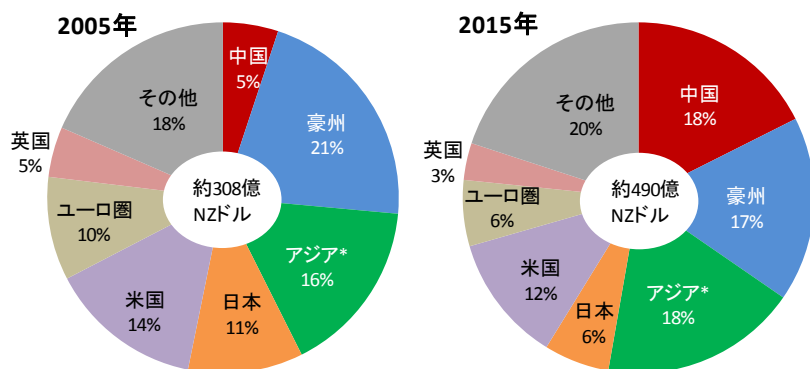
ここで、金利動向について触れておこう。世界的な低金利傾向は同国も例外ではない。9日に政策金利を2.25%に据え置き、緩和バイアスを維持したが、足元、長期金利は2.6%程度であり、長期金利がマイナスである日本や欧州と比べれば相対的に高いことから、利回りを追求する投資家は無視できない市場と言える。

2013年4月初から最近までのNZドルは円に対して年0.7%の下落(月次平均年率、リスクは年率13.9%)であった。金利差を考慮すれば、日本から見て比較的安定した投資先の一つと考えて良いと思われる。

2017年は選挙の年であり、現政権による減税は予想されるものの、世界景気が回復すれば、大幅な財政悪化になるとは考えにくい。

輸出先は中国、豪州、アジアなど多様性を維持

国・地域別輸出シェアの変化



*アジアは、韓国、インド、台湾、香港、ASEANの合計

(ニュージーランド統計局のデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)
 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

大臣は、同国の輸出について、中国や豪州、アジアなどに、それぞれ20%弱のシェアで輸出しており、多様性が維持されていることを強調している。TPP(環太平洋パートナーシップ)協定でアジア各国との貿易の増加が期待できるが、欧州とも同様の協定を結び、偏りのない輸出先の確保を図っているとのことだった。

現状、移民増や建設事業の増加、観光客による支出などで財政収支は黒字になる見通しである中、同国の経済政策の安定感を感じさせる貿易政策だ、との印象を持った。

弊社ニュージーランドの債券運用ヘッドであるファーガス・マクドナルドは、同国について、乳製品中心からワイナリー、観光、ITソフトウェアなどへの産業の多角化が進み始めている、記録的なホテル建設や移民増による住宅建設などの需要はまだ3~5年伸びるだろう、国内政治や政府財政が安定し企業財務も安定している、自由貿易協定で世界をリードしていることなどから、安定的な成長が見込めるだろう、と話している。

通貨(NZドル)は、乳製品価格などと連動して変動しやすかったが、産業の多角化が進むことで中長期的に安定傾向になると期待できるだろう。仮に国際政治が不安定になった場合、ニュージーランドは自由貿易の進展が遅れ、移民が減少するなどのリスクはあるが、投資家が中長期的な投資を検討するに当たっては、相対的に高い成長が見込まれる先進国として投資対象の候補になるだろう。

PDFファイルおよびバックナンバーは、日興アセットマネジメントのホームページでご覧いただけます。

また、facebook やツイッターで発行をお知らせいたします。

<http://www.nikkoam.com/products/column/kamiyama-reports>

facebook <https://www.facebook.com/nikkoam> Twitter https://twitter.com/NikkoAM_official